



”おげんき、お久しぶり”の言葉が行き交う「寄り合い処まつり」受付 ↑

富士宮地区には、高齢の方、障害のある方、子育て中の方などが、地域の中で気軽に立ち寄れる居場所で、楽しみながら支え合い絆を深める「寄り合い処」が118カ所あります。
 本日(2019/6/11)取材させていただいた芝富・内房地区では、16ヶ所の「寄り合い処」が活発に活動を展開しており、「第2回芝富・内房寄り合い処まつり」が、くれいどる芝楽文化ホールで和やかな雰囲気の中、盛大に開催されました。



まつりのオープニングは、各寄り合い処の代表が、映像を用いて活動内容の報告を行いました。
 (参加寄り合い処名)

- ①里山、②西山、③大久保、④上長貫、⑤楠金、⑥川合、⑦砂原おいちに、⑧羽・坂本、⑨サロン松本、⑩もみじ会、⑪初音、⑫朧島、⑬あやめ、⑭めぐりさわ、⑮仲良し、⑯白鳥



富士宮市芝川地区社会福祉協議会 後藤良行会長挨拶 ↑

芝川地区社会福祉協議会で活動している人は、区長・民生児童委員・まちづくりサポーター・保護司・更女会・青少年指導員・地域を元気にしたいと参加してくれる人などが、ボランティアとして活動しています。(この方たちを推進委員と言います)
 「できる人が、できる事を、できる時に」をモットーに芝川地区が元気で住みよい町になるように、地域の方たちと一緒に活動していると言う後藤良行会長の言葉は、これから向かっていく超高齢化社会に益々必要不可欠なもの、心の中に深く浸み込んできました。

- くどのような活動をしているのですか)
- ◇3世代交流として①ウォーキング、②健康まつり、③盆踊り
 - ◇まちかど相談室(毎月5日、15日、25日は会館内)
 - ◇広報誌年2回(全戸配布)
 - ◇社会を明るくする活動「住民の集いの開催」等



お手軽体操 ↑

会場の皆さんが椅子に座ってできる簡単な体操や、ゲームで身体と頭を使う お手軽体操の始まりです。
渡辺規子さんの絶妙な話術・笑いを誘う進行に、会場の盛り上がりは最高となってきました。



紙芝居 ↑

寄り合い処まつりのために作られた映像紙芝居「白鳥山と、どんど焼き」は、この地域に語り継がれている民話で、手作り紙芝居の温かみがよくでていました。



ボランティアの皆さんが、手作りグッズなど駆使し、カラオケ・ダンス・健康体操など何ができるかお楽しみの内容で、会場は一段と熱気に満ちあふれていました。



新舞踊ひまわり会の皆さんが「糸」、「寿太鼓」を華麗に舞っていただきました。



軽体操・みんなでおしゃべり・懐メロを歌うなど、参加者が楽しみながら交流を図り、楽しい時間を過ごすことが出来たのも素晴らしい司会進行をして下さった望月輝彦さんと、渡辺規子さんの熱烈なる「地域を元気にしたい」と言う気持ちが大きく、私たちの心の中に深く溶け込んできました。

望月輝彦さん談話「ご近所どうし縁側に腰を掛け、ひなたぼっこしながらおしゃべりをしていた昔の光景を思い起こし、身近な地域の方たちが気軽にしゃべりができ、ふれあいの場がどこにでも見受けられるふるさとにしたい。」・・・芝川地区には、このように郷土愛にあふれた心温かい方々が沢山活動していることが今回の取材でよくわかり、感動しました。

取材：富士・富士宮・北駿地区担当 生きがい特派員 渡邊英機